

丸山眞男文庫への招待

丸山眞男文庫準備委員・学報編集委員 黒 沢 文 貴

戦後日本を代表する知識人、丸山眞男氏（東京大学名誉教授、政治学者）が逝かれてから、はやくも四年近くの歳月が流れようとしている。

この間、氏の思想と学問の総体を問い直そうとする多くの文献や研究が発表され、氏が「本店」と称した日本政治思想史研究の分野での業績の重さはいうにおよばず、戦後日本の知的状況における氏の存在の大きさを、あらためて確認することができる。

氏の知的営みの一端は、その逝去に前後して出版された『丸山眞男集』『丸山眞男座談』『丸山眞男講義録』『自己内対話』などをおして知ることができるが、そうした著作物のもととなった自筆ノートをはじめとする、膨大な数の自筆資料や蔵書などを所蔵しているのが、図書館地下書庫に設置されている丸山眞男文庫である。

氏がさまざまな機縁を通じて東京女子大学に親しみをもっておられたこともあり、ご遺族からご寄贈を受け、本学に蔵書・資料類が搬入

されてから一年余りがたつ。

これまで記念講演会と文庫展示が幾度か催され、主著『日本政治思想史研究』関係資料など若干の資料と蔵書が図書館で展示されたことはあるが、基本的に現在はまだ整理中の段階であり、広く一般に公開されているわけではない。

そこで今後適宜、『学報』誌上で整理の進捗状況や興味深い資料についての若干の紹介をおこない、文庫の豊かな内容の一端をお伝えすることにしたい。

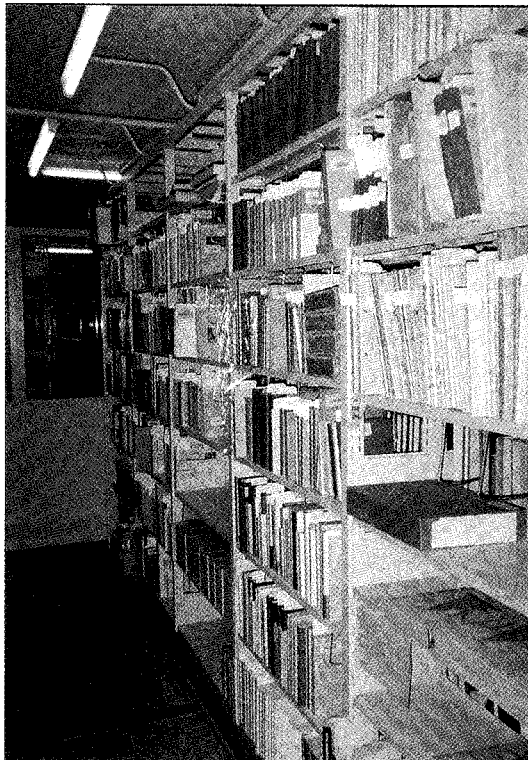
まず現在までの整理状況は、図書・雑誌類の整理が順調に進み、二〇〇一年度内に整理を終え、部分公開を始める予定となっている。図書の総数は雑誌類を除いて約一万七千三百冊、書き込みのある図書もある。

また自筆原稿やノート・メモ類の調査が専門家の手で並行しておこなわれており、そのなかには大学時代の受講ノートをはじめとして、

未刊行の講演原稿や未発表原稿など数多くの重要なものが含まれている。

(地域文化学科教授)

〔東京女子大学学報〕五四八号、二〇〇〇年六月号所収。ただし今回再録するにあたり、元原稿にあったタイトルを加筆した〕



丸山眞男文庫近影